



全国の舞台でも声を掛け合って笑顔で楽しむ

掛川桔梗 女子ソフトボール



▲市内在住のメンバー横山暖歩さん(小笠北小6)、山内星空さん(河城小6)、
稲垣蒼海さん(小笠北小4)、横山桜音乃さん(小笠北小3)

これまででも春の全国大会で優勝経験があり、今回も優勝を期待される中で挑んだ同チーム。決勝戦までコールド勝ちを含め順調に勝ち進みました。決勝戦は過去に对战経験のある大阪府代表の岸和田jrクラブ。試合は3回に岸和田が1点を先制、続く5回にも追加点をとられるも、最終7回裏に桔梗が2点を返して追いつき、延長戦に持ち込みます。迎えた8回、岸和田が2点を加え勝ち越されます。桔梗も果敢に攻めますが、あと一歩及ばず、準優勝となりました。

同チームには市内在住の児童が4人在籍しています。キャプテンを務める横山暖歩さんは「ピンチになったらタイムを掛けて、お互いに声を掛け合うなど、試合中は声掛けを意識しました。1人でも打てば、打線につながるチームだと思っていますので、とにかく打って塁に出られるようにプレーしました」と全国大会という大舞台を笑顔で振り返ります。そして「優勝することはできませんでしたが、この悔しさを忘れずに次の大

掛川桔梗女子ソフトボールは、7月29日から8月1日に三重県熊野市で開催された「第37回全日本小学生女子ソフトボール大会」に出場しました。

会もがんばりたいです。そして、これからも声を出すことを心掛けてプレーをしていきたいです」と今後の目標を話してくれました。全国大会という大きな舞台でも、笑顔で楽しむことを忘れない掛川桔梗女子ソフトボールの児童たち。これからの試合でも、彼女たちらしい元気なプレーで勝利を手にするのを期待します。

▶激闘を終え笑顔で記念撮影

